

日本フィルの公益活動を応援してください

ご支援の
詳細はこちら ▶



公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団への寄付金は、 税制上の優遇措置が受けられます。

*詳しくは国税庁のサイトをご覧ください。

1 個人寄付会員になる

パトロネージュ(個人寄付会員)

寄付(1口・年額)ボプラ 3万円／メイブル5万円／マロニエ12万円／
エルム20万円／リンデン50万円／オーク100万円

日本フィルの演奏活動、社会貢献活動にご賛同くださる皆様
より、ご寄付を会費の形で頂戴する会員制度です。
会費のご寄付には、所得税法上の優遇措置が適用されます。

日本フィルハーモニー協会

寄付(1口・年額) 一般会員5千円／維持会員2万円／
年会会員2千円 他

1973年の創立以来、日本フィルを部診療面で支え、地域で楽
団員と協力して行うコンサートづくりなどユニークな活動を
行ってきました。

3 法人寄付で応援する

2025年度の
実績は
こちらから ▶



特別会員(法人寄付)

日本フィルの演奏活動、教育活動、地域活動への共感、ご理解
を下さる多くの企業法人の皆様へご支援をお願いしておりま
す。幅広い皆様のお力添えにより、事業の一層の充実を図りたい
と願っております。
定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの
特典があります。

4 サポーターになる

サポーターズクラブ

年会費1口1万円

コンサートを聴いて日本フィルを支えよう! 音楽に関心をもつ
皆様に「日本フィルのサポーター」として、私どもの活動をご支
援いただくシステムです。

2 寄付をする

遺贈

自分が亡くなった後の財産や遺産を社会に役立てて欲しいと
言った尊いご意思に応えるため、遺言によるご寄付(遺贈)や、
故人から財産を相続された相続人の皆さまからのご寄付を
お待ちしております。

寄付 <https://japanphil.or.jp/support/fundraising/>

日本フィルの「被災地に音楽を」ほか、多彩な活動を支えてい
ただくために、皆様からの寄付が必要です。温かいご支援を
心よりお願いいたします。

5 定期会員になる

詳細は
こちら ▶



月に一席のサントリーホール、
横浜みなとみらいホールで聴く贅沢な時間

6 協賛する

2025年度の
実績は
こちらから ▶



コンサートへの冠協賛、広告協賛など、様々なニーズにお応
えすることができます。

7 グッズを買って応援する

Tシャツ／CD・配信／オリジナルグッズなど

自主レーベル「JPO RECORDINGS」によるCD/配信、オリジ
ナルグッズ(Tシャツ、カレンダーなど)を販売しています。収益は
日本フィルの演奏活動に役立てています。



共鳴を、熱いウェブに

理事長ご挨拶



公益財団法人
日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 石塚邦雄

公益財団法人

日本フィルハーモニー交響楽団 2025年度活動報告

Japan Philharmonic Orchestra

Annual Report 2025

2026年6月、日本フィルハーモニー交響楽
団は創立70周年を迎えました。1956年の創
立以来、多くのお客様、ご支援者の皆様、関係
各位に温かく支えられ、この大きな節目を迎
えることができましたことに、心より御礼申し
上げます。

70周年に先立つ2025年度は、「プレ70周
年」として、日本フィルならではの音楽の魅力を
お届けしてまいりました。首席指揮者カーチュ
ン・ウォンは就任3年目を迎えました。NHK「ク
ラシック音楽館」での交響曲第2番『復活』の
放送をはじめ、「カーチュン×日本フィルのマー
ラー」は、いまや音楽界において確固たる評価
を確立しました。桂冠名誉指揮者小林研一郎
は、2025年度も第九、コパケン・ワールド等の
人気シリーズで完売が続き、さらに楽員をソリ
ストに迎えたプログラムで新たな魅力を引き出
しました。さらに、フレンド・オブ・JPO(芸術顧
問)広上淳一とのセミ・ステージ形式による「オ
ペラの旅『仮面舞踏会』」は、日本フィルの新
たな挑戦として両日満席のお客様をお迎えし、
普段オペラを見ない方には新しい体験を、
オペラファンの皆様には日本フィルを知ってい
ただくきっかけとなりました。

また、「被災地に音楽を」をはじめとする東
日本大震災の被災地での継続的な活動で
は、室内楽での訪問や「東北の夢プロジェクト

(岩手・福島)」に加え、福島県の避難指示解
除地域でコミュニティの復興活動や住民の
心のケアを目的とした訪問コンサートやミニコ
ンサートを積極的に実施するなど、地域のニー
ズに耳を傾けながら新たな取り組みも展開い
たしました。さらに「東北の夢プロジェクト
in東京」公演を初めて実現し、開演前にシン
ポジウムを開催するなど、音楽を通じて地域
や社会と深く結びつくという当団の理念を、よ
り実践的に形にできた一年であったと考えてお
ります。

財政面におきましては、入場率の上昇に伴
うチケット収入の増加に加え、民間助成金や
個人寄付金などの尊いご支援に支えられ、
経常収益は前年度に比べ大幅に増加いたしま
した。その結果、2021年度以来4期ぶりとなる
当期利益をあげることができました。創立70
周年記念事業を前に、財政基盤の強化を図る
ことができたことは、大きな成果です。
これらはすべて、日頃より日本フィルを支えてく
ださる皆様のお力添えの賜物です。深く感謝
申し上げます。

創立70周年を新たな出発点として、日本フィ
ルはこれからも芸術性を追求しながら、音楽
の力で人と社会をつなぐオーケストラとして歩
み続けてまいります。今後とも変わらぬご支援、
ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表 (2026年3月末現在、単位:千円)

I.資産の部

科目	金額
1.流動資産	475,309
2.固定資産	544,902
資産合計	1,020,211

II.負債の部

科目	金額
1.流動負債	308,519
2.固定負債	356,663
負債合計	665,182

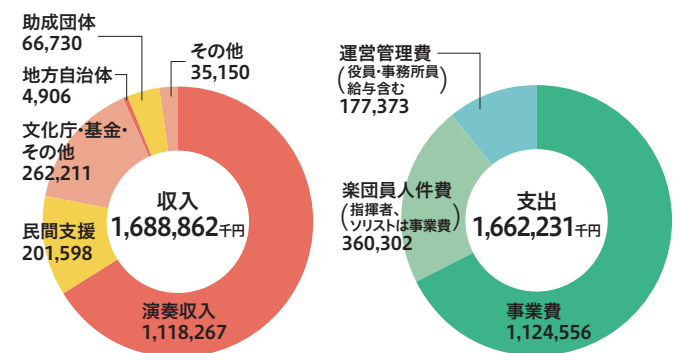
III.正味財産の部

科目	金額
正味財産合計	355,029
負債及び正味財産合計	1,020,211

正味財産増減計算書

科目	金額
経常収益	1,688,862
経常費用	1,662,231
経常外増減等	△10,580
当期正味資産増	85,910

収入・支出 (2026年3月末現在、単位:千円)



日本フィルをもっと知っていただくために



メールマガジン
日本フィル NEWS はこちらから登録！



公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

ホームページリニューアル!
(2026年1月～)

芸術性の追求～オーケストラ公演

2025年度は創立70周年を翌年に控え、シーズン期間変更のための移行期間としました。カーチュン・ウォンが確固たる評価を得、また小林研一郎が圧倒的な人気で楽団を支え、広上淳一とのオペラ《仮面舞踏会》など大規模な挑戦も満席の成功を収めました。ガボール・タカーチ＝ナジの初出演、山田和樹のベルリンフィル・デビューからの凱旋など話題も多く、入場料収入も過去最高を記録しました。



フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一とは「オペラの旅」プロジェクトを開催。



首席指揮者カーチュン・ウォンとは、マーラーの交響曲第5番、6番、また、伊福部、芥川など、日本人作曲家の作品にも意欲的に取り組みました。



桂冠名誉指揮者の小林研一郎との公演は、大人気コンサートのコパケン・ワールドや、第九特別演奏会など完売公演が続きました。

社会とともに1
音楽と学びをつなぐ

子どもから大人まで、音楽との出会いを広げるために、日本フィルでは、鑑賞にとどまらない体験や対話を通じて、感性や創造性を育む多彩なプログラムを展開しています。25年度も学校、ホール、地域など、さまざまな場で一人ひとりの心に音楽を通して学びの時間を届けました。これからも日本フィルは、芸術性と社会性を大切にしながら、音楽の持つ力を信じ、あらゆる人々に音楽の喜びを届けてまいります。



4歳からの夏休みコンサート(7月～8月18公演)、0歳からの春休みオーケストラ探検(3月)は今年も大盛況、たくさんの笑顔があふれました。



楽員の自発的な発想に基づき、音楽を組み立てるプロセスを公開するプログラムなど新しい取り組みも。



社会とともに2
地域と共に奏でる

2025年度も九州、東北、北海道、宇部、愛媛等日本各地で、地域の方々とともに様々な活動を行いました。ホールだけではなく学校や福祉施設、あるいは街角で、一つひとつの出会いを積み重ね、その場所ですしか生まれない「音楽の輪」を広げることができました。また本拠地杉並では区との連携協定に基づき、小中学生を対象とした音楽鑑賞教室やロビーコンサート、公開リハーサルなどを実施しました。



2月の九州公演は、文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク支援構築事業)」の助成を受け、また各地実行委員会との協働により全県9都市で公演を行いました。



杉並公会堂シリーズを「杉並定期演奏会」に改称。首席指揮者カーチュン・ウォンが初登場。

社会とともに3
心の復興を後押しする「被災地に音楽を」

ミニコンサートや「音楽創造ワークショップ」、楽器指導のクリニックなども含めて、被災地での活動は15年間で延べ381回(26年3月末)となり、東北の各地域との絆をさらに深めました。2019年に開始した「東北の夢プロジェクト」では、「新たなオーケストラ支援事業」の助成3年目(最終年度)として岩手県の盛岡市と福島県のいわき市、そして東京でもオーケストラ公演を実施しました。



「東北の夢プロジェクト in 東京」を東京芸術劇場で実施、初めて東京に被災地の子供たちを招いて共演。公演の前にはパネルディスカッションも行うなど、地域内外の交流と情報発信に務めました。

2025年度活動回数

オーケストラ公演:137公演

主催公演84回	東京定期演奏会(第769回～第778回)	20回
	横浜定期演奏会(第406回～第415回)	10回
	名曲コンサート	3回
	芸劇シリーズ	3回
	コパケン・ワールド	3回
	夏休みコンサート	16回
	第九特別演奏会	6回
	九州公演	9回
	特別演奏会	14回

依頼公演53回※1	一般公演	33回
	青少年向け公演	2回
	文化庁主催公演	7回
	自治体・学校主催公演	11回

主催公演入場者数

東京定期演奏会	29400人
横浜定期演奏会	14800人
名曲コンサート	5300人
芸劇シリーズ	4000人
コパケン・ワールド	4900人
夏休みコンサート	18300人
第九特別演奏会	10800人
九州公演	10700人
特別演奏会	15200人
合計	117000人

※1 依頼公演は2024年度より6公演増加
※2 定期会員数はシーズン切り替えにより7カ月の単一期間となったため微減。一方で1公演あたりの入場者数の増加とチケット価格の見直しにより、演奏料収入は全体として増加した。

会員数

定期会員※2	東京定期会員(金・土)	1806席
	横浜定期会員	998席
法人会員	協賛企業	29社
	特別会員	204社
	九州特別会員	102社
個人会員	パトローネージュ	328口
	日本フィル協会	649名
	サポーターズクラブ	753名

社会とともに

夏休みコンサート	16回
春休みオーケストラ探検	1回
学校・訪問施設コンサート	57回
ロビーコンサート	29回
オーケストラ探検隊	5回
公開リハーサル	18回
職場訪問	3回
60歳からの楽器教室	252回
インターンシップ	21人
プレイベント	4回
プレトーク(オーケストラ・ガイド等)	30回
ワークショップ	11回
クリニック	23回
パネルディスカッション	1回

社会への
取組の詳細は
こちら▶

